

皮膚科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	COVID-19 ワクチン接種後の副反応としての皮膚疾患実態調査
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇 学
研究責任者	皮膚科学講座 教授 渡辺大輔
試料・情報の利用目的及び利用方法	〔利用目的〕 新型コロナワクチン接種後に起きた皮膚関連の有害事象の実態調査を目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2021 年 1 月から 2022 年 12 月までに新型コロナワクチン接種後に起きた皮膚関連の有害事象のあった方 〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2026 年 3 月 3 1 日 〔利用方法〕 対象施設（日本皮膚科学会認定主研修施設、以下 URL 参照）に一次スクリーニング調査(コロナワクチンが原因と思われる皮膚反応の件数)を行い、回答のあった施設に更にアンケート調査（症例の年齢、性別、皮膚疾患名、ワクチンのメーカー（1 回目や 2 回目で異なる場合は、それぞれ）、皮疹発生までの接種回数、ワクチン接種後から発症までの期間、皮膚症状の罹患期間（増悪した皮膚疾患に関しては増悪期間）、転機、臨床写真、病理組織の有無）などの詳細情報を集積し、集積したアンケート情報に従いデータ解析を行います。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 紙アンケートおよび電子データ
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：ワクチン接種後に起きた皮膚の有害事象に関する施設アンケート（皮膚の腫れ、発疹の有無など）
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	近畿大学医学部皮膚科学教室 教授 大塚篤司 日本皮膚科学会認定主研修施設 ※詳細 以下 URL 参照

	https://www.dermatol.or.jp/modules/maintraining/?ao%5B2%5D=0&sf%5B2%5D=2&ao%5B3%5D=0&sf%5B3%5D=3&ss%5B3%5D=0&sq%5B2%5D=&sq%5B3%5D=
提供する試料・情報の取得の方法	対象施設（日本皮膚科学会認定主研修施設）に一次スクリーニング調査を行い、参加施設からのアンケート調査により情報を集積します
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	愛知医科大学医学部 皮膚科学講座 教授 渡辺大輔
利用する者の範囲	愛知医科大学医学部 皮膚科学講座 教授 渡辺大輔 近畿大学医学部皮膚科学教室 教授 大塚篤司 日本皮膚科学会認定主研修施設 ※詳細 以下 URL 参照 https://www.dermatol.or.jp/modules/maintraining/?ao%5B2%5D=0&sf%5B2%5D=2&ao%5B3%5D=0&sf%5B3%5D=3&ss%5B3%5D=0&sq%5B2%5D=&sq%5B3%5D=
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年1月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	近畿大学医学部 皮膚科学講座 担当者：講師 （氏名）中嶋千紗 〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2 電話 072-366-0221（内線 5219）